

## 9. 初交時に避妊を行わなかった理由

初交時に避妊しなかった男性でその理由が明記されていたもののうち「避妊具がなかった」が最も多く 36.9%であり、次に、「避妊について良く知らなかった」が 16.4%、いずれも 25 歳未満であった。「妊娠しないと思った」「面倒だった」が 10.7%であった。

表 12-1. 初交時に男性が避妊を行わなかった理由

初交年代	10 歳代	20-24 歳	25-29 歳	30 歳代	総計
避妊具がなかった	32(34.4)	11(44.0)	1(33.3)	1(100)	45(36.9)
自分から言い出せなかった	3(3.2)	2(8.0)			5(4.1)
避妊について良く知らなかった	17(18.3)	3(12.0)			20(16.4)
妊娠しないと思った	11(11.8)	1(4.0)	1(33.3)		13(10.7)
できてもかまわなかった	7(7.5)	2(8.0)	1(33.3)		10(8.2)
面倒だった	9(9.7)	4(16.0)			13(10.7)
子どもが欲しかった		1(4.0)			1(0.8)
避妊について相手から断られた	2(2.2)	1(4.0)			3(2.5)
完璧な避妊は無いと思った	1(1.1)				1(0.8)
この中に入らない	11(11.8)				11(9.0)
総計	93(100)	25(100)	3(100)	1(100)	122(100)

女性で最も多かったのが「自分から言い出せなかった」27.8%、「避妊具がなかった」21.5%と続いており、「妊娠してもかまわなかった」13.3%、「避妊についてよく知らなかった」「妊娠しないと思った」が各 12.0%であった。25 歳を過ぎての初交は 18 名で 12 名(66.7%)が「できてもかまわない」子どもが欲しかったという理由であった。

表 12-1. 初交時に女性が避妊を行わなかった理由

初交年代	10 歳代	20-24 歳	25-29 歳	30 歳代	総計
避妊具がなかった	25(25.8)	7(16.3)	2(14.3)		34(21.5)
自分から言い出せなかった	27(27.8)	14(32.6)	3(21.4)		44(27.8)
避妊について良く知らなかった	13(13.4)	6(14.0)			19(12.0)
妊娠しないと思った	17(17.5)	1(2.3)	1(7.1)		19(12.0)
できてもかまわなかった	6(6.2)	6(14.0)	7(50.0)	2(50.0)	21(13.3)
面倒だった	4(4.1)				4(2.5)
子どもが欲しかった	2(2.1)	4(9.3)	1(7.1)	2(50.0)	9(5.7)
避妊について相手から断られた					
完璧な避妊は無いと思った					
この中に入らない	3(3.1)	5(11.8)			8(5.1)
総計	97(100)	43(100)	14(100)	4(100)	158(100)

#### IV. 初交についての小括

##### 1. 初交年齢

初交の平均年齢は男性で 18.8±3.1 歳 (12~34 歳) であり、女性 19.1±3.1 歳 (13~38 歳) であり有意差は認めなかった。さらに、過去の調査からみて初交年齢が早まってきているというような傾向は窺われなかった。

##### 2. 初交に対する認識

重大なイベントであったと捉えていたのが男性で 57.8%に対し女性で 70.0%と女性の方が重大なことと捉えており、処女性という認識の違いが当然のことながら窺われた。

これを前回調査と比較すると男性は 63.2%であり 5.4 ポイントの低下、女性は 76.3%と 6.3 ポイント下回っており有意差 ( $p < 0.01$ ) を認めている。すなわち処女性という認識が下がっているようにも思われる。

この処女性についてスコアリング化して重み付けをしてみると男性は 0.33 点に対し女性 0.90 点と高値で女性は処女性を大切にしていることが窺われ、しかも初交時年齢が 20 歳を境にしてみると 10 歳代の男性は 0.15 点と処女性に対する認識が低く、逆に、20 歳以上の女性は 1.18 点と高値を示し認識の違いが窺い知れた。

##### 3. 初交相手との出会いのきっかけ

初交に至った相手に関しては、今回新たに加わった「以前から知っていて次第に好意を持った」が追加されて前回と比較はできないものの、この項目は、その他として友人からの紹介や職場や何らかの参加しているグループ化での出会いから交際に至り初交に及んだと思われる。いずれにしても出会いは「友人や先輩からの紹介」と「職場やバイト先」ということに端を発しているように思われた。

##### 4. 初交に至ったきっかけ

初交に至った動機としては、「お互いに愛していたから」が半数を占めており男性は 48.7%、女性 60.1%であった。お互いが愛情を持つての性の営みが本質と思われるが、男性に比べ女性の方が有意差をもって高かったことはジェンダーの違いで自らの処女性を重んじているものと推察された。しかも、「遊び心や好奇心から」という気持ちで至った動機が男性で 24.8%、女性 8.6%という数値が性に対する認識の違いを如実に現わしていた。

##### 5. 初交時の印象

初交時の印象として「うれしかった」と答えていたのが、男性 54.2%に対し女性が 39.6%と女性が有意に低値であり、設問中の解答欄の中に含まれていないというのが 26.6%と多かったことは心理的内面性の複雑さを物語っているように思われた。前回調査時でも「うれしかった」と答えていたのが男性で 44.4%、女性で 22.9%であり、今回調査では男女共に有意に高値を示し、特に女性が多くなっていたのは処女性の認識も

高揚してきたのかもしれない。

## 6. 出会いから初交までの期間

出会いから初交までの期間として男性は3ヶ月未満で57.3%と6割近くを占めており、女性は41.8%と低いものの女性の性交経験者では1年以内で9割が経験していたことが明らかとなった。また、異性を意識して出会うと、その半数は3ヶ月で性交渉に至っていることが窺い知れた。

## 6. 初交後の交際期間

初交から3ヶ月でその交際に終わりを告げていたのが男性で28.7%、女性16.8%と男性に短期間が多く、前回調査の男性28.7%、女性15.3%と殆ど変化はみられていなかった。1年以上続くのが未婚男性で28.6%、未婚女性45.7%、前回調査では未婚男性36.3%、未婚女性42.9%と男性は7.6ポイント低下しているものの有意差は認めなかった。

また、出会ったその日に初交に至った男性の85.0%は1週間以内に終りを告げ、女性は母集団が少ないものの63.6%であり、お互いを知り合うという概念は低いことが窺われ、1年以上かけての交際は、初交後も長期間交際期間が長くなっており、出会いから初交までの期間が長いほど、お互いを知り合い永続性ももたらせていると考えられた。

## 7. 初交時の避妊

初交時の避妊で実行したのが男性で71.1%、女性62.2%と女性が低値で有意差を認めていた。初交時の年齢からみると10歳代では男女間に差は認めておらず、20歳代から有意差を認めていることから、後述する避妊をしなかった理由からみても妊娠してもかまわないと考えていたのが36.1%であったことから、妊娠しても良いという意識が介在していたためと考えられた。

それに加え、避妊実行者の9割がコンドームであったことから「自分から避妊をしてといえなかった」という男性主導の避妊法が女性にとって限界のあったことが窺い知れ、女性自らの避妊法の選択が「低用量ピル」への変容に繋がってきているように思われた。

## V章. 現在の避妊について

### 1. 現在の性交頻度

ふだん異性と性交渉をどれくらいしていますかと問いかけている。男性は「週1回以上」が115名(20.6%)で、未婚26.8%、既婚17.1%と未婚者に比べ有意( $p < 0.01$ )に低値を示していた。「月2-3回」が142名(25.5%)、未婚17.8%、既婚30.4%と逆に既婚者が多く有意差( $p < 0.01$ )を認めた。「月1回」「月1回未満」は既婚者に多く、1年以上もしていない「殆どセックスをしない」が未婚男性で31.0%、既婚男性でも13.6%にみられた。

表 1-1. 男性における性交頻度

	世代	週1回以上	月2-3回	月1回	月1回未満	殆どセックスをしない	無回答	総計
未婚	16-24歳	23(42.6)	11(20.4)	5(9.3)	5(9.3)	6(11.1)	4(7.4)	54
	25-34歳	21(26.9)	15(19.2)	9(12.8)	10(12.8)	22(28.2)	1(1.3)	78
	35-44歳	12(18.8)	9(14.1)	6(14.1)	9(14.1)	27(42.2)	1(1.6)	64
	45歳以上	1(5.9)	3(17.6)	1(5.9)	1(5.9)	11(64.7)		17
未婚計		57(26.8)	38(17.8)	21(9.9)	25(11.7)	66(31.0)	6(2.8)	213
既婚	16-24歳	2(66.7)	1(33.3)					3
	25-34歳	30(33.0)	33(36.3)	11(12.1)	11(12.1)	2(2.2)	4(4.4)	91
	35-44歳	20(11.6)	48(27.9)	31(18.0)	35(20.3)	28(16.3)	10(5.8)	172
	45歳以上	6(8.2)	21(28.8)	14(19.2)	13(17.8)	16(21.9)	3(4.1)	73
既婚計		58(17.1)	103(30.4)	56(16.5)	59(17.4)	46(13.6)	17(5.0)	339
未既婚不明			1(20.0)				4(80.0)	5
男性総計		115(20.6)	142(25.5)	77(13.8)	84(15.1)	112(20.1)	27(4.8)	557

女性では「週1回以上」が128名(18.0%)で、未婚26.0%、既婚14.8%と男性同様未婚者の方が多く有意差( $p < 0.001$ )を認めた。「月2-3回」は160名(22.5%)、未婚22.1%、既婚22.5%とほぼ同じ値を示していた。「月1回」も既婚者にやや多いものの有意差は認めなかった。「月1回未満」と「殆どセックスをしない」未婚者に多くみられるも、男性同様、既婚者においても16.4%、19.6%と多く、35歳以上の既婚女性では「殆どセックスをしない」が23.5%と約4分の1近くであった。

表 1-2. 女性における性交頻度

	世代	週 1 回以上	月 2-3 回	月 1 回	月 1 回未満	殆どセックスをしない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	21(36.8)	15(26.3)	8(14.0)	2(3.5)	8(14.0)	3(5.3)	57
	25-34 歳	22(25.3)	24(27.6)	8(9.2)	8(9.2)	21(24.1)	4(4.6)	87
	35-44 歳	7(15.2)	7(15.2)	6(13.0)	6(13.0)	19(41.3)	1(2.2)	46
	45 歳以上	4(22.2)		1(5.6)	1(5.6)	10(55.6)	2(11.1)	18
未婚計		54(26.0)	46(22.1)	23(11.1)	17(8.2)	58(27.9)	10(4.8)	208
既婚	16-24 歳	4(80.0)			1(20.0)			5
	25-34 歳	33(25.8)	35(27.3)	22(17.2)	17(13.3)	12(9.4)	9(7.0)	128
	35-44 歳	24(10.0)	54(22.5)	36(15.0)	39(16.3)	55(22.9)	32(13.3)	240
	45 歳以上	12(9.9)	22(18.2)	20(16.5)	24(19.8)	30(24.8)	13(10.7)	121
既婚計		73(14.8)	111(22.5)	78(15.8)	81(16.4)	97(19.6)	54(10.9)	494
未既婚不明		1(12.5)	3(37.5)				4(50.0)	8
女性総計		128(18.0)	160(22.5)	101(14.2)	98(13.8)	155(21.8)	68(9.6)	710

## 2. 避妊に関するパートナーとの係わり合い

避妊することや、その方法についてパートナーと相談しているか否かについて問いかけている。男性では「良く相談する」163名(29.3%)、未婚23.5%、既婚33.3%と既婚者の方が良く相談していたが、「あまり相談しない」未婚46.0%、既婚39.5%、「全く相談しない」が未婚26.8%、既婚22.4%と未婚者に高率であったが有意差は認めなかった。

女性では「良く相談する」が235名(33.1%)、未婚35.1%、既婚32.0%とほぼ同じ値であり、「あまり相談しない」未婚40.1%、既婚42.8%、「全く相談しない」未婚17.3%、既婚18.8%と男性と異なり既婚者の方が少し多くなっていた。

また、男女共に年齢が高くなるにつれ相談しなくなる傾向が窺われ、コミュニケーションの低下が示されていた。

表 2-1. 避妊や方法について相談するか否かについて (男性)

	世代	良く相談 する	あまり相 談しない	全く相談 しない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	13(24.1)	23(42.6)	13(24.1)	5(9.3)	54
	25 - 34 歳	19(24.4)	39(50.0)	19(24.4)	1(1.3)	78
	35-44 歳	16(25.0)	29(45.3)	18(28.1)	1(1.6)	64
	45 歳以上	2(11.8)	7(41.2)	7(41.2)	1(5.9)	17
未婚計		50(23.5)	98(46.0)	57(26.8)	8(3.8)	213
既婚	16-24 歳	2(66.7)	1(33.3)			3
	25 - 34 歳	38(41.8)	35(38.5)	16(17.6)	2(2.2)	91
	35-44 歳	53(30.8)	74(43.0)	34(19.8)	11(6.4)	172
	45 歳以上	20(27.4)	24(32.9)	26(35.8)	3(4.1)	73
既婚計		113(33.3)	134(39.5)	76(22.4)	16(4.7)	339
未既婚不明				1(20.0)	4(80.0)	5
男性総計		163(29.3)	232(41.7)	134(24.1)	28(5.0)	557

表 2-1. 避妊や方法について相談するか否かについて (女性)

	世代	良く相談 する	あまり相 談しない	全く相談 しない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	18(31.6)	28(49.1)	9(15.8)	2(3.5)	57
	25 - 34 歳	38(43.7)	32(36.8)	12(13.8)	5(5.7)	87
	35-44 歳	14(30.4)	20(43.5)	11(23.9)	1(2.2)	46
	45 歳以上	3(16.7)	9(50.0)	4(22.2)	2(11.1)	18
未婚計		73(35.1)	89(42.8)	36(17.3)	10(4.8)	208
既婚	16-24 歳	2(40.0)	3(60.0)			5
	25 - 34 歳	48(37.5)	56(43.8)	20(15.6)	4(15.6)	128
	35-44 歳	71(29.6)	92(38.3)	50(20.8)	27(20.8)	240
	45 歳以上	37(30.6)	47(38.8)	23(19.0)	14(19.0)	121
既婚計		158(32.0)	198(40.1)	93(18.8)	45(18.8)	494
未既婚不明		4(50.0)			4(50.0)	8
女性総計		235(33.1)	287(40.4)	129(18.2)	59(8.3)	710

### 3. 避妊の実行状況について

過去 1 年間の性交渉で避妊を実行しているか否かについて問いかけている。男性は「いつも避妊をしている」が 223 名(39.2%)で、未婚 42.3%、既婚 39.2%と未婚者にやや高値を示すも有意差は認められなかった。「避妊をしたり、しなかったり」が未婚 24.9%、既婚 17.1%と既婚が有意( $p < 0.05$ )に低値であった。「避妊はしていない」未婚 7.5%、既婚 27.1%

と未婚が有意( $p<0.001$ )に低値を示していた。「性交をしない」が未婚 22.1%、既婚 12.1%とこれも両者間に有意差( $p<0.01$ )を認めた。「したりしなかったり」を避妊している群と捉えたと未婚で無回答を除く 206 名中 143 名(69.4%)、既婚 324 名中 191 名(59.0%)と有意差( $p<0.0$ )を認めた。

表 3-1. 男性における避妊の実行状況

F 5	世代	いつも避妊している	したりしなかったり	避妊はしていない	性交渉をしていない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	31(57.4)	15(27.8)	3(5.6)	3(5.6)	2(3.5)	54
	25-34 歳	30(38.5)	25(32.1)	2(2.6)	19(24.4)	2(4.6)	78
	35-44 歳	25(39.1)	10(15.6)	9(14.1)	18(28.1)	2(2.2)	64
	45 歳以上	4(23.5)	3(17.6)	2(11.8)	7(41.2)	1(5.6)	17
未婚計		90(42.3)	53(24.9)	16(7.5)	47(22.1)	7(3.8)	213
既婚	16-24 歳		1(33.3)	2(66.7)			3
	25-34 歳	23(25.3)	25(27.5)	38(41.8)	4(4.4)	1(3.1)	91
	35-44 歳	73(42.4)	22(12.8)	45(26.2)	22(12.8)	10(11.3)	172
	45 歳以上	37(50.7)	10(13.7)	7(9.6)	15(20.5)	4(12.4)	73
既婚計		133(39.2)	58(17.1)	92(27.1)	41(12.1)	15(9.3)	339
未既婚不明				2(40.0)		3(60.0)	5
男性総計		223(40.0)	111(19.9)	110(19.7)	88(15.8)	25(15.8)	557

表 3-2. 女性における避妊の実行状況

F 5	世代	いつも避妊している	したりしなかったり	避妊はしていない	性交渉をしていない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	22(38.6)	19(33.3)	6(10.5)	8(14.0)	2(3.5)	57
	25-34 歳	31(35.6)	27(31.0)	8(9.2)	17(19.5)	4(4.6)	87
	35-44 歳	16(34.8)	9(19.6)	5(10.9)	15(32.6)	1(2.2)	46
	45 歳以上	3(16.7)	1(6.6)	1(5.6)	12(66.7)	1(5.6)	18
未婚計		72(34.6)	56(26.9)	20(9.6)	52(25.0)	8(3.8)	208
既婚	16-24 歳	1(20.0)	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)		5
	25-34 歳	41(32.0)	33(25.8)	40(31.3)	10(7.8)	4(3.1)	128
	35-44 歳	95(39.6)	33(13.8)	37(15.4)	48(20.0)	27(11.3)	240
	45 歳以上	62(51.2)	8(6.6)	14(11.6)	22(18.2)	15(12.4)	121
既婚計		199(40.3)	76(15.4)	92(18.6)	81(16.4)	46(9.3)	494
未既婚不明		3(37.5)		1(12.5)		4(50.0)	8
女性総計		274(38.6)	132(18.6)	113(15.9)	133(18.7)	58(8.2)	710

女性においては、「いつも避妊している」が274名(38.6%)、未婚34.6%、既婚40.3%と既婚のほうが高値を示すも有意差は認めなかった。「避妊をしたり、しなかったり」が未婚26.9%、既婚15.4%と既婚者が有意( $p<0.001$ )に低値であった。「避妊はしていない」未婚9.6%、既婚15.9%と後者が高値で有意差( $p<0.01$ )を認めた。既婚女性のうち35歳未満の41名が「避妊をしてしない」であり30.8%と高く35歳以上の51名(14.1%)に比べ有意差( $p<0.001$ )を認めた。このことは「妊娠しても良い」という気持ちを持つものが多く含まれていると考えられる。「性交渉をしていない」が未婚25.0%、既婚16.4%と後者が有意( $p<0.05$ )に低値であったが、35歳未満で8.3%に対し35歳以上は19.4%と有意( $p<0.01$ )に高値となっていた。また、未婚女性では35歳未満が17.4%で、35歳以上が42.2%となり両者間に有意差( $p<0.001$ )を認めた。

男性同様に避妊している群は未婚200名中128名(64.0%)、既婚448名中275名(61.4%)と未既婚間で有意差は認めなかった。

#### 4. 「避妊をしたりしなかったり」「避妊をしていない人」の妊娠への心配度

「避妊をしたりしなかったり」「避妊をしていない人」の妊娠への心配度について問いかけている。男性は221名(39.7%)で未既婚不明が2名含まれているが、「とても心配」24名(11.0%)で、未婚13.0%、既婚10.0%と未既婚間で有意差は認められていない。「少し心配」が77名(26.0%)、未婚55.1%、既婚26.0%と未婚者が高値で有意差( $p<0.001$ )を認めた。「あまり心配でない」未婚16.7%、既婚28.0%と後者が高値であるも有意差は認めなかった。「全く心配でない」未婚4.3%、既婚32.7%と後者が有意( $p<0.001$ )に高値であった。

未婚男性の35歳未満と35歳以上の少し心配している割合は、68.9%と66.7%と高率であるが両者間には有意差は認めなかった。既婚男性では35歳未満が47.0%であり、35歳以上27.4%と有意( $p<0.05$ )に低かった。

表4-1. 男性の妊娠への心配度

		とても心配	(%)	少し心配	(%)	あまり心配でない	(%)	全く心配でない	(%)	無回答	(%)	総計
未婚	35歳未満	7	15.6	24	53.3	11	24.4	2	4.4	1	2.2	45
	35歳以上	2	8.3	14	58.3	5	20.8	1	4.2	2	8.3	24
未婚計		9	13.0	38	55.1	16	23.2	3	4.3	3	4.3	69
既婚	35歳未満	10	15.2	21	31.8	11	16.7	22	33.3	2	3.0	66
	35歳以上	5	6.0	18	21.4	31	36.9	27	32.1	3	3.6	84
既婚計		15	10.0	39	26.0	42	28.0	49	32.7	5	3.3	150
男性総計		24	11.0	77	35.2	58	26.5	53	24.0	9	3.7	221



女性は245名(34.5%)で未既婚不明が1名総計に含まれている。未既婚別でみると「とても心配」が未婚で19.7%、既婚10.7%と未婚者が高値を示すが有意差は認めなかったが、「少し心配」は未婚52.6%、既婚38.1%と有意差( $p<0.01$ )を認めている。とてもと少しを合わせてみると未婚72.3%、既婚42.2%と未婚者は4分の3近くが心配していることになる。

表4-2. 女性の妊娠への心配度

		とても心配	(%)	少し心配	(%)	あまり心配でない	(%)	全く心配でない	(%)	無回答	(%)	総計
未婚	35歳未満	14	23.3	31	51.7	7	11.7	8	13.3	0	0.0	60
	35歳以上	1	6.3	9	56.3	5	31.3	1	6.3	0	0.0	16
未婚計		15	19.7	40	52.6	12	15.8	9	11.8	0	0.0	76
既婚	35歳未満	9	11.8	21	27.6	23	30.3	23	30.3	0	0.0	76
	35歳以上	9	9.8	32	34.8	30	32.6	20	21.7	1	1.1	92
既婚計		18	10.7	53	31.5	53	31.5	43	25.6	1	0.6	168
女性総計		33	13.5	93	38.1	65	26.6	53	21.6	1	0.4	245

## 5. 避妊をしなかった理由

次に、「避妊をしたり、しなかったり」や「避妊をしなかった」人に対して、その理由を聞いている。これによると男性全体では「子どもが欲しい」が最も多く26.7%であり、未婚者はわずか4.3%であるのに対し既婚者は37.3%で有意差( $p<0.001$ )を認めた。一方、「子どもができて良い」という期待感は未婚27.5%、既婚25.3%と未婚に2.2ポイント高いものの有意差は認めなかった。また、既婚者において35歳未満に11.6ポイント高いものの有意差は認めなかった。次に多かったのが「面倒だ」であり未婚21.7%、既婚12.2%と未婚者が高値であり有意差( $p<0.01$ )を認めた。「妊娠しないと思う」は未婚13.0%、既婚9.3%にみられた。

女性で最も高値であったのが「子どもができて良い」80名(32.7%)で、未婚28.9%、既婚33.9%とあり、未婚は35歳以上が35歳未満に比べ3ポイント高く、既婚では35歳以上に比べ7.8ポイント高かったものの有意差は認めなかった。「子どもが欲しい」と考えていたのが16.7%で男性よりも低く有意差( $p<0.05$ )を認め、既婚者は未婚に比べ20.2%と11ポイント高かったものの有意差は認めなかったが、35歳未満が35歳以上に比べ27.6%と13.5ポイント高く有意差( $p<0.05$ )を認めた。「面倒だ」について女性はわずか5.3%であり、男性に比べ有意( $p<0.05$ )に低値であった。また、「自分から言い出せない」が4.9%と男性に比べ高く有意差( $p<0.05$ )を認めた。「相手に断られる」も3.7%と男性よりも高いものの有意差は認めなかったが、既婚女性に比べ未婚者間では有意差( $p<0.05$ )を認めた。

いずれにしても、「妊娠しないと思う」は女性が考える問題であり、「自分から言い出せない」、「相手に断られる」については相互間のコミュニケーションの問題であり、また、「避妊具がない」は一過的な問題であり、これらの理由は全体的に少ないものの「望まない妊娠」を避けるためには、考慮すべき事由と思われた。

表 5-1. 男性の避妊をしなかった理由

	35歳未満	35歳以上	計	35歳未満	35歳以上	計	総計
避妊について良く知らない	1(2.2)		1(1.4)				1(0.5)
自分から言い出せない				1(1.5)	1(1.3)	2(1.3)	2(0.9)
相手に断られる	1(2.2)		1(1.4)	2(3.0)		2(1.3)	3(1.4)
避妊具がない	9(20.0)	1(4.2)	10(14.5)	3(4.5)	3(3.6)	6(4.0)	16(7.2)
子どもができて良い	12(26.7)	7(29.2)	19(27.5)	21(31.8)	17(20.2)	38(25.3)	58(26.2)
子どもが欲しい	3(6.7)		3(4.3)	23(34.8)	33(39.3)	56(37.3)	59(26.7)
妊娠しないと思う	5(11.1)	4(16.7)	9(13.0)	4(6.1)	10(11.9)	14(9.3)	23(10.4)
面倒だ	9(20.0)	6(25.0)	15(21.7)	4(6.1)	8(9.5)	12(8.0)	27(12.2)
完璧な避妊法がない	3(6.7)	2(8.3)	5(7.2)	1(1.5)	1(1.2)	2(1.3)	7(3.2)
その他	1(2.2)	2(8.3)	3(4.3)	4(6.1)	8(9.5)	12(8.0)	16(7.2)
無回答	1(2.2)	2(8.3)	3(4.3)	3(4.5)	3(3.6)	6(4.0)	9(4.1)
総計	45(100)	24(100)	69(100)	66(100)	84(100)	150(100)	221(100)

表 5-2. 女性の避妊をしなかった理由

	35歳未満	35歳以上	計	35歳未満	35歳以上	計	総計
避妊について良く知らない							
自分から言い出せない	7(11.7)		7(9.2)	1(1.3)	4(4.3)	5(3.0)	12(4.9)
相手に断られる	5(8.3)	1(6.3)	6(7.9)	2(2.6)	1(1.1)	3(1.8)	9(3.7)
避妊具がない	6(10.0)	2(12.5)	8(10.5)	2(2.6)	4(4.3)	6(3.6)	14(5.7)
子どもができて良い	17(28.3)	5(31.3)	22(28.9)	29(38.2)	28(30.4)	57(33.9)	80(32.7)
子どもが欲しい	6(10.0)	1(6.3)	7(9.2)	21(27.6)	13(14.1)	34(20.2)	41(16.7)
妊娠しないと思う	6(10.0)	3(18.8)	9(11.8)	7(9.2)	18(19.6)	25(14.9)	34(13.9)
面倒だ	5(8.3)	2(12.5)	7(9.2)	2(2.6)	4(4.3)	6(3.6)	13(5.3)
完璧な避妊法がない	1(1.7)	1(6.3)	2(2.6)	1(1.3)	1(1.1)	2(1.2)	4(1.6)
その他	6(10.0)	1(6.3)	7(9.2)	10(13.2)	12(13.0)	22(13.1)	29(11.8)
無回答	1(1.7)		1(1.3)	1(1.3)	7(7.6)	8(4.8)	9(3.7)
総計	60(100)	16(100)	76(100)	76(100)	92(100)	168(100)	245(100)

## 6. 現在行っている避妊法（2つまでの選択）

現在行っている主な避妊法について問いかけており、避妊法の選択肢は二つまでとしている。男性が行っている主な避妊法として、「男性用コンドーム」が294名(88.0%)であり、未婚93.0%に対し既婚84.3%と8.7ポイント下回り有意差( $p < 0.05$ )を認めた。次に多いのが「膣外射精法」であり14.7%、未婚6.3%に対し既婚14.7%と後者が有意( $p < 0.001$ )に高値を示していた。また、未婚者では35歳以上が有意( $p < 0.05$ )高く、既婚者では35歳未満が高値を示すも有意差は認めなかった。その他の避妊法としては「ピル」が3.3%であり未婚者が4.9%と既婚者より高値を示していた。

表 6-1. 男性が行っている主な避妊法

	35歳未満	35歳以上	計	35歳未満	35歳以上	計	総計
男性用コンドーム	96(95.0)	37(88.1)	133(93.0)	40(81.6)	121(85.2)	161(84.3)	294(88.0)
女性用コンドーム							
オギノ式	2(2.0)		2(1.4)		3(2.1)	3(1.6)	5(1.5)
BBT法	1(1.0)		1(0.7)	2(4.1)		2(1.0)	3(0.9)
膣外射精	3(3.0)	6(14.3)	9(6.3)	14(28.6)	26(18.3)	40(20.9)	49(14.7)
洗浄法							
殺精子剤							
IUD							
ピル	4(4.0)	3(7.1)	7(4.9)	2(4.1)	2(1.4)	4(2.1)	11(3.3)
不妊手術(男性)							
不妊手術(女性)				1(2.0)	2(1.4)	3(1.6)	3(0.9)
無回答	3(3.0)	2(4.8)	5(3.5)	1(2.0)	2(1.4)	3(1.6)	8(2.4)
総計	101(100)	42(100)	143(100)	49(100)	142(100)	191(100)	334(100)

女性が主に行っている避妊法は、男性同様「コンドーム」が82.0%と高値で、未婚86.7%、既婚79.5%と後者が下回っていたが有意差は認められなかった。未既婚共に35歳以上の方に「コンドーム」の使用率は低下していた。次に多いのが「膣外射精法」で未婚6.3%に対し既婚16.7%と高値となり有意差( $p < 0.01$ )を認めた。「ピル」は5.7%と過去の調査に比べ上昇しており(第3回調査1.2%)、未婚13.3%に対し既婚2.2%と未婚女性の使用率が有意( $p < 0.001$ )に高値となっていた。その他として「オギノ式」3.4%「不妊手術(女性)」2.5%となっており、男性に比べ選択肢にやや広がりを示していた。

表 6-2. 女性が行っている主な避妊法

	35 歳未満	35 歳以上	計	35 歳未満	35 歳以上	計	総計
男性用コンドーム	88(88.9)	23(79.3)	111(86.7)	66(85.7)	153(77.3)	219(79.5)	333(82.0)
女性用コンドーム					1(0.5)	1(0.4)	1(0.2)
オギノ式	2(2.0)	2(6.9)	4(3.1)	2(2.6)	8(4.0)	10(3.6)	14(3.4)
BBT 法		1(3.4)	1(0.8)	3(3.9)	1(0.5)	4(1.5)	5(1.2)
膈外射精	4(4.0)	4(13.8)	8(6.3)	11(14.3)	35(17.7)	46(16.7)	54(13.3)
洗浄法							
殺精子剤	1(1.0)		1(0.8)		1(0.5)	1(0.4)	2(0.5)
IUD				1(1.3)	2(1.0)	3(1.1)	3(0.7)
ピル	13(13.1)	4(13.8)	17(13.3)	2(2.6)	4(2.0)	6(2.2)	23(5.7)
不妊手術 (男性)					3(1.5)	3(1.1)	3(0.7)
不妊手術 (女性)	2(2.0)		2(1.6)		8(4.0)	8(2.9)	10(2.5)
無回答	1(1.0)	2(6.9)	3(2.3)	3(3.9)	4(2.0)	7(2.5)	10(2.5)
総計	99(100)	29(100)	128(100)	77(100)	198(100)	275(100)	406(100)

## V. 現在の避妊について小括

### 1. 現在の性交頻度

Ⅲ-4. 最近 1 ヶ月間の性交頻度でも同様の設問がなされていたが、前項の設問の仕方が最近 1 ヶ月間で何回行いましたかという回数で取り上げており、それを「5 回以上行った」を週 1 回以上とカウントしたこと、本項では「毎日」、「週に 2-3 回」、「週に 1 回」、「月 2-3 回」、「月 1 回」、「半年に 2-3 回」、「年に数回」、「年 1 回未満」、「ふだんセックスをしない」という 10 項目の設問であったため判定の仕方が個人において微妙に異なってきた。本項では「週に 1 回」までを「週 1 回以上」とし、「半年に 2-3 回」から「年に数回」までを「月 1 回未満」、「年に 1 回未満」と「殆どセックスをしない」を「殆どセックスをしない」に入れて集計したため、その違いが生じている。その違いは「週 1 回以上」と「月 2-3 回」が増え、「月 1 回」が減り、「1 ヶ月無」だったのが「月 1 回未満」と「殆どセックスをしない」に分散され少なくなっている。

未婚男性は前項で「1 ヶ月無」が 46.9%であったのが、「月 1 回未満」11.7%、「殆どセックスをしない」31.0%となり、既婚男性は前項で「1 ヶ月無」が 34.8%であったのが、「月 1 回未満」17.4%、「殆どセックスをしない」13.6%の計 31.0%となっている。未婚女性は前項で「1 ヶ月無」が 47.9%であったのが、「月 1 回未満」8.2%、「殆どセックスをしない」27.9%となり、既婚女性は前項で「1 ヶ月無」が 37.7%であったのが、「月

1 回未満」16.9%、「殆どセックスをしない」19.6%の計36.5%となっており、男女とも大きな違いはみられなかった。

本項では避妊とのかかわりからの性交頻度と捉えていきたい。

## 2. 避妊に関するパートナーとの係わり合い

避妊についてパートナーと相談することについては、女性は良くするが未既婚とも3割を超えており、既婚男性は既婚女性とほぼ同じ値であったことで、回答率は正確であったともいえよう。いずれにしても、避妊についてはパートナーとあまり相談していないことが明らかであり、男性にその傾向が強くあらわれていた。

## 3. 避妊の実行状況について

「いつも避妊をしている」と「避妊をしたりしなかったり」は、避妊を意識しているものと考えらるなら、未婚男性は67.2%、未婚女性61.5%、既婚者では男性56.3%に対し女性55.7%であった。この数値は前回調査とほぼ同じ値で変化していなかったが、既婚女性において4.4ポイント下回っており、この違いは既婚女性の子どもができて良いと考える女性が増えたためである。前回調査より「子どもが欲しい」が増えていないため「避妊はしていない」は前回調査と同じ値であった。また、「セックスをしていない」は前回調査とほぼ同じ値で、既婚男性12.2%、既婚女性16.4%であり、この数値は性交頻度の「殆どセックスをしない」とほぼ一致していた。

## 4. 「避妊をしたりしなかったり」「避妊をしていない」人の妊娠への心配度

避妊をあまり考えていない人たちの妊娠への心配度について、少なからず心配しているのは未婚男性68.1%、未婚女性72.8%、既婚男性36.0%、既婚女性42.3%と未婚者に高値であり、未既婚間に有意差は認めるも未既婚の男女間では有意差は認めなかった。

このことは未婚者の避妊への意識が低ければ望まない妊娠を危惧するのは男女とも7割近くは存在していることで、残りの3割は妊娠しても良いと考えているのか、避妊することへの面倒さを考えているのかのいずれかと思われた。

## 5. 避妊をしなかった理由について

ここでは特に未婚者についてみると「妊娠しても良い」と考えているのは男性で27.5%、女性28.9%であり、女性では「子どもが欲しい」が9.2%もあった。「避妊具がなかった」男性14.5%に対し女性も同様に10.5%であり、問題点として挙げられるのが「面倒だった」と答えたのが男性21.7%、しかも35歳以上で25.0%を示しており、女性は9.2%と有意差は認めないものの男性に比べ低く、35歳以上では12.5%と男性同様高くなっていた。

これは未婚男性が前回調査で22.0%であり、避妊に対して面倒と考えるのは、加齢と共に性行為に対し避妊という根本的な認識が低下しているようにも思われた。

## 6. 現在行っている避妊法（2つまでの選択）

今回も過去と同様にコンドームによる避妊法が主流であった。選択肢が2つまでとあり、二次的な避妊法として陰外射精法をとっていた。これは過去の調査からも指摘されるところであった。その他の避妊法の選択を男性が挙げているのは「ピル」でわずか3%にしか過ぎなかったのに対し女性は「ピル」5.7%、「オギノ式」3.4%、「不妊手術（女性）」2.5%と女性側に選択肢の広がりが見られた。

未婚女性の「ピル」による避妊を行っていたのが13.3%と今迄にない高値を示していた。前回調査の1.9%から比べると高値となり有意差を認めた。この「ピル」が高値になっていたことについては、「Ⅶ. 予期せぬ妊娠の防止について」の項について述べることにする。

## VI章. コンドームに対する認識

### 1. コンドームの使用状況

避妊法としてコンドームを使用しているカップルに対して「あなたは決まった相手との性交渉のとき毎回使用していますか」という問いかけをしている。

「必ずコンドームを使用している」という男性は57.5%で、未婚57.9%、既婚57.1%と未既婚間でほぼ同じ値であり、「時々使用」未婚21.8%に対し既婚29.2%と後者が高いものの有意差は認めなかった。「殆ど使用しない」も未婚11.3%、既婚11.2%と同じ値を示していた。

表1-1. 男性のコンドームによる避妊法における使用状況（特定パートナー）

	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用 しない	相手は いない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	28(65.1)	8(18.6)	5(11.6)	1(2.3)	1(2.3)	43
	25-34 歳	27(50.9)	12(22.6)	7(13.2)	6(11.3)	1(1.9)	53
	35-44 歳	20(62.5)	8(25.0)	2(6.3)	2(3)		32
	45 歳以上	2(40.0)	1(20.0)	1(20.0)	1(20.0)		5
未婚計		77(57.9)	29(21.8)	15(11.3)	10(7.5)	2(1.5)	133
既婚	16-24 歳					1(100)	1
	25-34 歳	22(56.4)	13(33.3)	4(10.3)			39
	35-44 歳	48(57.1)	26(31.0)	8(9.5)		2(2.4)	84
	45 歳以上	22(59.5)	8(21.6)	6(16.2)		1(2.7)	37
既婚計		92(57.1)	47(29.2)	18(11.2)		4(2.5)	161
未既婚不明							0
男性総計		169(57.5)	76(25.9)	33(11.2)	10(3.4)	6(2.0)	294

女性の場合、特定のパートナーに対するコンドームの常用率は、男性の57.5%に対し51.2%と有意差は見られないものの6.3ポイント下回っており、未婚者が47.7%とより低値であった。「時々使用」は未婚者が有意( $p < 0.05$ )に高く、逆に「殆ど使用しない」が既婚者に高く有意差( $p < 0.05$ )を認めた。

表 1-2. 女性のコンドームによる避妊法における使用状況（特定パートナー）

	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用 しない	相手は いない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	20(51.3)	14(35.9)	4(10.3)	1(2.6)		39
	25-34 歳	23(46.9)	18(36.7)	5(10.2)	3(6.1)		49
	35-44 歳	9(45.0)	6(30.)	3(15.0)	1(5.0)	1(5.0)	20
	45 歳以上	1(33.3)	1(33.3)	1(33.3)			3
未婚計		53(47.7)	39(35.1)	13(11.7)	5(4.5)	1(0.9)	111
既婚	16-24 歳		2(100)				2
	25-34 歳	32(50.0)	17(26.6)	14(21.9)		1(1.6)	64
	35-44 歳	49(51.6)	22(23.2)	19(20.0)		5(5.3)	95
	45 歳以上	34(57.6)	9(15.3)	15(25.4)		1(1.7)	59
既婚計		115(52.3)	50(22.7)	48(21.8)		7(3.29)	220
未既婚不明		3(100)					3
女性総計		171(51.2)	89(26.6)	61(18.3)	5(1.5)	8(2.4)	334

次に、不特定パートナーに対するコンドームの使用状況に対し問いかけている。不特定パートナーとの交際を持っているのが、男性で 41.2%に対し女性 15.9%と有意( $p<0.001$ )に低値で、男性の未既婚別では未婚が 60.3%と有意( $p<0.001$ )に高値を示していた。女性においても、男性に比べ値は低いものの未婚の方が高く有意差( $p<0.001$ )を認めた。

これらのうちで、コンドームの常用率は、男性 67.5%、未婚 65.8%、既婚 71.1%であり、既婚者に高いものの有意差は認めなかった。特定のパートナーの場合と比較すると男性は（相手がいないと無回答を除く）未婚 63.6%、既婚 58.6%と高値を示しているものの有意差は認められなかった。

一方、女性は不特定パートナーとの交際を持つ母数は少ないものの未婚女性で 50.0%、既婚女性 55.0%であり、男性に比べ低値であったが有意差は認めなかった。特定パートナー（相手がいないと無回答を除く）とでは、未婚 50.5%であり、既婚が 54.0%という値であった。このことは STD 予防という観点からの意識はなかったといえる。



表 2-1. 不特定パートナーに対する男性のコンドームの使用状況

	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用 しない	いる	いない	総計
未婚	16-24 歳	9(60.0)	3(20.0)	3(20.0)	15(36.6)	26(63.4)	41
	25-34 歳	26(70.3)	9(24.3)	2(5.4)	37(69.8)	16(30.2)	53
	35-44 歳	14(60.9)	6(26.1)	3(13.0)	23(71.9)	9(28.1)	32
	45 歳以上	3(75.0)		1(25.0)	4(80.0)	1(20.0)	5
未婚計		52(65.8)	18(22.8)	9(11.4)	79(60.3)	52(39.7)	131
既婚	16-24 歳					1(100)	1
	25-34 歳	6(85.7)	1(14.3)		7(19.4)	29(80.6)	36
	35-44 歳	12(60.0)	7(35.0)	1(5.0)	20(25.0)	60(75.0)	80
	45 歳以上	9(81.8)	2(18.2)		11(30.6)	25(69.4)	36
既婚計		27(71.1)	10(26.3)	1(2.6)	38(24.8)	115(75.2)	153
未既婚不明							
男性総計		79(67.5)	28(23.9)	10(8.5)	117(41.2)	167(58.8)	284

表 2-2. 不特定パートナーに対する女性のコンドームの使用状況

	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用 しない	いる	いない	総計
未婚	16-24 歳	5(45.5)	3(27.3)	3(27.3)	11(28.2)	28(71.8)	39
	25-34 歳	6(46.2)	5(38.5)	2(15.4)	13(27.7)	34(72.3)	47
	35-44 歳	2(50.0)	1(25.0)	1(25.0)	4(20.0)	16(80.0)	20
	45 歳以上	2(100)	0	0	2(66.7)	1(33.3)	3
未婚計		15(50.0)	9(30.0)	6(20.0)	30(27.5)	79(72.5)	109
既婚	16-24 歳		0	0	0	2(100)	2
	25-34 歳	3(60.0)	0	2(40.0)	5(7.8)	59(92.2)	64
	35-44 歳	3(33.3)	4(44.4)	2(22.2)	9(10.7)	75(89.3)	84
	45 歳以上	5(83.3)	0	1(16.7)	6(11.1)	48(88.9)	54
既婚計		11(55.0)	4(20.0)	5(25.0)	20(9.8)	184(90.2)	204
未既婚不明		0	0	0	0	2(100)	2
女性総計		26(52.0)	13(26.0)	11(22.0)	50(15.9)	265(84.1)	315

## 2. コンドームを使用する理由について

コンドームを使用する理由について問いかけている。男性は294名中137名(46.6%)が確実な避妊のためと考えており、この考えは未婚者より既婚者により高値で有意差( $p<0.05$ )を認めた。「STD予防のため」と答えたのは15.3%で、未婚者24.8%、既婚者はわずか7.5%にしか過ぎず有意差( $p<0.001$ )を認めた。次に多かったのは「安心できるから」が14.6%で未婚15.0%、既婚14.3%であった。

表3-1. 男性が考えるコンドーム使用の理由

	35歳未満	35歳以上	未婚計	35歳未満	35歳以上	既婚計	総計
STD予防のため	23(24.0)	10(27.0)	33(24.8)	3(7.5)	9(7.4)	12(7.5)	45(15.3)
確実な避妊法	37(38.5)	15(40.5)	52(39.1)	18(45.0)	67(55.4)	85(52.8)	137(46.6)
相手が使うから	1(1.0)	0	1(0.8)	0	0	0	1(0.3)
コンドーム以外知らない	2(2.1)	2(5.4)	4(3.0)	2(5.0)	2(1.7)	4(2.5)	8(2.7)
値段が安い							
入手しやすい	4(4.2)	4(10.8)	8(6.0)	3(7.5)	2(1.7)	5(3.1)	13(4.4)
セックスをした場所にある	0	0	0	0	1(0.8)	1(0.6)	1(0.3)
安心できるから	17(17.7)	3(8.1)	20(15.0)	4(10.0)	19(15.7)	23(14.3)	43(14.6)
良く使われているから	10(10.4)	0	10(7.5)	2(5.0)	9(7.4)	11(6.8)	21(7.1)
なんとなく	1(1.0)	2(5.4)	3(2.3)	3(7.5)	2(1.7)	5(3.1)	8(2.7)
この中に入らない	1(1.0)	0	1(0.8)	3(7.5)	5(4.1)	8(5.0)	9(3.1)
無回答	0	1(2.7)	1(0.8)	2(5.0)	5(4.1)	7(4.3)	8(2.7)
総計	96(100)	37(100)	133(100)	40(100)	121(100)	161(100)	294(100)

女性が考えるコンドーム使用の理由の第一は、「確実な避妊法」であり38.0%、未婚36.9%、既婚37.7%であったが、男性に比べ8.6ポイント低く有意差( $p<0.05$ )を認めた。次に多かったのが「安心できるから」で13.5%、未婚9.0%、既婚15.9%と後者が6.9ポイント高いものの有意差は認めなかった。「STD予防のため」は7.8%であり、男性よりも有意( $p<0.01$ )に低値であった。既婚女性に比べ未婚女性の方が有意( $p<0.01$ )に高値であり、STD予防の認識は、男性と比べると低値であり、むしろ避妊の考えが強く、「安心できる」や「相手が使うから」という相手任せの避妊意識になっていると思われる(表3-2)。

表 3-2. 女性が考えるコンドーム使用の理由

	35歳未満	35歳以上	未婚計	35歳未満	35歳以上	既婚計	総計
STD 予防のため	12(13.6)	4(17.4)	16(14.4)	3(4.5)	7(4.5)	10(4.5)	26(7.8)
確実な避妊法	33(37.5)	8(34.8)	41(36.9)	28(42.4)	55(35.7)	83(37.7)	127(38.0)
相手が使うから	7(8.0)	2(8.7)	9(8.1)	1(1.5)	15(9.7)	16(7.3)	25(7.5)
コンドーム以外知らない	3(3.4)	1(4.3)	4(3.6)	1(1.5)	2(1.3)	3(1.4)	7(2.1)
値段が安い	1(1.1)	0	1(0.9)	2(3.0)	2(1.3)	4(1.8)	5(1.5)
入手しやすい	9(10.2)	0	9(8.1)	3(4.5)	6(3.9)	9(4.1)	18(5.4)
セックスをした場所にある	0	2(8.7)	2(1.8)	0	0	0	2(0.6)
安心できるから	5(5.7)	5(21.7)	10(9.0)	9(13.6)	26(16.9)	35(15.9)	45(13.5)
良く使われているから	12(13.6)	0	12(10.8)	8(12.1)	11(7.1)	19(8.6)	31(9.3)
なんとなく	1(1.1)	0	1(0.9)	3(4.5)	4(2.6)	7(3.2)	8(2.4)
この中に入らない	2(2.3)	0	2(1.8)	4(6.1)	6(3.9)	10(4.5)	12(3.6)
無回答	3(3.4)	1(4.3)	4(3.6)	4(6.1)	20(13.0)	24(10.9)	28(8.4)
総計	88(100)	23(100)	111(100)	66(100)	154(100)	220(100)	334(100)

### 3. コンドーム未使用者の STD に対する認識

コンドームを使用していない人に対し STD への考えを問いかけている。「自分とは関係ない」と答えたのが既婚者のみであり、男性 21.9%、女性 11.3%、「関係ないとは思わない」が男性 56.3%、女性 59.7%、「身近に危機感がある」は、男性 4名 12.5%、女性 7名 11.3%と低値であった。この危機感があるは母数が少ないものの未婚女性に 7名中 5名であった。

表 4. コンドーム以外による避妊法で STD に対する意識

	世代	自分とは関係がない	関係ないとは思わないが危機感はない	身近に感じ危機感がある	この中にはない	無回答	総計
未婚男性	35歳未満		2(100)				2
	35歳以上		1(33.3)	2(66.7)			3
未婚男性計			3(60.0)	2(40.0)			5
既婚男性	35歳未満	3(37.5)	3(37.5)	1(12.5)	1(12.5)		8
	35歳以上	4(21.1)	12(63.2)	1(5.3)	2(10.5)		19
既婚男性計		7(25.9)	15(55.6)	2(7.4)	3(11.1)		27
男性総計		7(21.9)	18(56.3)	4(12.5)	3(9.4)		32
未婚女性	35歳未満		3(30.0)	3(30.0)	1(10.0)	3(30.0)	10
	35歳以上		2(50.0)	2(50.0)			4
未婚女性計			5(35.7)	5(35.7)	1(7.1)	3(21.4)	14
既婚女性	35歳未満	1(12.5)	5(62.5)	2(25.0)			8
	35歳以上	6(15.0)	27(67.5)		2(5.0)	5(12.5)	40
既婚女性計		7(14.6)	32(66.7)	2(4.2)	2(4.2)	5(10.3)	48
女性総計		7(11.3)	37(59.7)	7(11.3)	3(4.8)	8(12.9)	62

## VI. コンドームに対する認識の小括

### 1. コンドームの使用状況

本項では、性感染症（STD）の予防という観点からの設問としており、特定のパートナーにおけるコンドームの使用状況で「必ず使用」は未既婚男性で 57.9%、57.1%と大差はなく、女性は未婚 47.7%、既婚 52.3%と女性がやや下回っているものの有意差は認めていない。

しかしながら、不特定パートナーの場合では、男性の未婚で 65.8%、既婚 71.1%と特定のパートナーより高値を示しているも有意差は認めなかった。同様に女性は、母数が少ないものの特定パートナーの場合と全く同じ値であった。

男性は、コンドームの使用が少しは STD 予防という意識はあるものの女性には、その意識が窺われなかった。

### 2. コンドームを使用する理由について